

私大図協・東・研・2005-57  
2005年11月7日

加盟大学図書館長 殿

私立大学図書館協会  
東地区部会研究部担当理事校  
国士舘大学附属図書館  
館長 廣野 行甫  
【公印省略】

### 2005年度研究分科会報告大会開催のご案内

貴館におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
さて、このたび標記研究分科会報告大会を下記の通り開催することになりました。  
つきましては、館務ご繁忙のところを誠に恐縮ですが、貴館職員の参加についてご高配を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

参加申込みは、お手数ですが、同封参加申込書へ必要事項を記入のうえ、FAXにて12月2日(金)までにお送りいただきますようお願いいたします。

北海道地区研究分科会の発表は、東地区部会役員会の承認により、北海道地区私立大学図書館協議会との共催で、つぎのように別会場で行われます。

日 程 2005年12月16日(金)  
会 場 札幌大学  
発表内容 大学図書館における顧客評価(札幌大学 森 俊司)ほか  
連絡先 北海道地区研究分科会代表  
札幌大学図書館・森 俊司  
電話 011-852-9185 Fax 011-856-8264

### 記

1. 日 時 2005年12月21日(水)・22日(木) 9:20~17:00
2. 定 員 各100名  
\*参加者の受付は、先着大学順にさせていただきます。座席に余裕がある場合は、参加申込書に従い次行の方を受付いたします。
3. 会 場 立正大学総合学術情報センター 1152教室  
(プレゼンテーションラボ2 11号館5階)  
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16  
アクセスマップ  
[http://www.ris.ac.jp/guidance/cam\\_guide/access.html](http://www.ris.ac.jp/guidance/cam_guide/access.html)
4. 発表概要(発表日・発表時間)

### 12月21日(水)

(21A) 【西洋古版本研究分科会】 (9:30~10:20)

西洋古版本の世界 part 2

グーテンベルク以後のヨーロッパにおける活字本の歴史とその目録

(研究発表要旨)

ゲーテンベルク以後のドイツ、イタリア、フランス、ベルギーにおける代表的印刷者の古版本を取り上げ、その活版印刷の歴史、各国の古版本の特徴、およびそれらの図書の目録についての調査報告を行なう。

発表者： 金田 陽治（成城大学図書館） 鈴木 秀子（明治大学図書館）

(21B) 【和漢古典籍研究分科会】 (10:25～11:15)

和漢古書の刊行年推定とNII方式での書誌データ作成

- アンケート集計結果と共に -

(研究発表要旨)

和漢古書における無刊記本の刊行時期の推定は、和漢古書担当者にとって大きな悩みとなっている。また、図書館所蔵資料の書誌情報の電子情報化がすすんでいるが、和漢古書の電子化された書誌情報は各館ごとに精粗が見られることから、今回無刊記本の刊行時期推定と書誌情報の電子化の一例を『法界次第初門』という資料を通して検証すると共に、和漢古書目録作成上の問題点・注意点を喚起し、且つ今回分科会で実施したアンケートの集計報告を行なう。

発表者： 沼田 晃佑（身延山大学図書館） 鈴木 京子（専修大学図書館）  
細野 美里（立教大学図書館）

(21C) 【企画広報研究分科会】 (11:25～12:15)

図書館広報手段と「Lib.PR：図書館広報実践支援サイト」の立ち上げについて

(研究発表要旨)

図書館ツアーや情報検索講習会を開いても学生が集まらないなど、どこの図書館でも広報に関する悩みを抱えていると思います。今期の企画広報研究分科会では、図書館広報手段の見直しを行い、その成果をまとめた「Lib.PR：図書館広報実践支援サイト」を立ち上げました。「Lib.PR」の内容を紹介しながら、図書館広報に関する、ヒントやアイデアを提案します。

発表者： 秋山 朋子（東京家政大学図書館狭山図書館） 奥原 由美子（専修大学図書館）  
前之園香世子（昭和女子大学図書館） 山田 美佐子（青山学院大学万代記念図書館）  
中澤 恵子（日本女子大学図書館） 中村 園子（東洋学園大学流山図書館）  
西生田図書館）

(21D) 【レファレンス研究分科会】 (13:15～14:05)

デジタル環境下におけるレファレンスサービスの諸相

(研究発表要旨)

情報環境の劇的な変化と利用者の情報要求の多様化を受け、図書館におけるレファレンスサービスもデジタル環境に即応したサービス展開の必要性が強く認識されている。そこで、国内外のデジタルレファレンスサービスの実情や研究動向を踏まえ、サービスの特性や意義、今後の諸課題について考察を試みる。

発表者： 鈴木 一弘（女子美術大学相模原図書館） 高杉 幸史（中央大学図書館）  
若林 由美子（獨協大学図書館） 渡邊 真理子（武蔵工業大学環境情報学部  
情報メディアセンター）

(21E) 【情報リテラシー教育研究分科会】 (14:10～15:00)

情報リテラシーに使える！効果的な媒体の研究

- 情報リテラシー教育研究分科会 第2期最終報告 -

(研究発表要旨)

近年、多くのメディアで情報リテラシーの重要性が報じられ、また大学でのガイダンス・オリエンテーションの実施率も増加しているが、その内容や方法が十分検討されていない。そこで、当分科会では、効果的なガイダンスの実施とガイダンス後も継続的リテラシー効果の狙える、ガイダンス資料を研究対象とし、WWW 媒体資料と紙媒体資料に注目し、調査・検討を行った。

発表者： 穴久保 恵治（筑波学院大学附属図書館） 齋藤 理香（中央大学図書館）  
遠山 有紀（学習院大学図書館法学部・ 野口 幸子（横浜商科大学図書館）  
経済学部図書センター）  
中村 彰（日本大学生物資源学部図書館）

(21F) 【資料組織研究分科会】 (15:15～16:05)

利用者志向目録

- その手法とアメリカに見る先駆的な取り組み -

(研究発表要旨)

検索エンジンを使い慣れた世代にアピールできるような、新しい目録とはどのようなものであろうか。アメリカで始まった先駆的な取り組み Red Light Green を中心に新しい利用者志向の目録の記述方法（ダブリンコア、MODS 等）や、利用者への見せ方（インターフェイス）を紹介したい。

発表者： 池田 和広（鶴見大学図書館） 衛藤 俊介（日本体育大学図書館）  
永井 智子（上智大学図書館）

(21G) 【パブリック・サービス研究分科会】 (16:10～17:00)

パブリック・サービス研究分科会研究報告

- 人材育成・リスクマネジメント・コンソーシアム研究 -

(研究発表要旨)

- ・図書館スタッフ研修プログラムについて-人材育成のあり方-
- ・大学図書館における危機管理 『個人情報保護のためのチェックシート』作成を中心に
- ・コンソーシアム研究

発表者： 伊藤 秀弥（立教大学図書館人文科学系 小倉 宇思（武蔵大学図書館研究情報  
図書館） センター）  
土屋 貴之（法政大学多摩図書館） 小野 薫（東邦大学習志野メディア  
センター）

12月22日(木)

(22A) 【逐次刊行物研究分科会】 (9:30～10:20)

電子ジャーナル入門

(研究発表要旨)

現在の大学図書館において「電子ジャーナル」はキーワードとして語られている。だが、現場の図書館員は「電子ジャーナル」を理解しているだろうか。急速な「電子ジャーナル」の発達に理解が追いつかず、担当者任せになっていないだろうか。今期の逐次刊行物研究分科会では、このような現状を踏まえ、初心者でも利用者をナビゲートできるよう手引書を作ることとした。

発表者： 吉野 ひろみ（東洋大学附属図書館工学部 立石 文恵（関東学院大学図書館  
分館） 本館）  
清水 由紀（東海大学付属図書館中央図書館） 矢部 知美（桜美林大学図書館）

**(22B) 【分類研究分科会】 (10:25 ~ 11:15)**  
DDCの実効性を考える

(研究発表要旨)

国際標準的な図書分類法として知られるデューイ十進分類法 (DDC : Dewey Decimal Classification) は、改訂のたび部門ごとに中規模～大規模な改訂が実施されている。前期のブリス書誌分類法 (BC2 : Bliss Bibliographic Classification 2nd ed.) と同様の評価手法を用いてDDC諸版 (最新の22版、大規模改訂後の21版、改訂前の20版、そして戦前の13版) の性能比較・検証を行い、その実効性から専門資料群を扱う大学図書館に必要な分類法のありようを考えたい。

発表者： 藤倉 恵一 (文教大学越谷図書館)

**(22C) 【理工学研究分科会】 (11:25 ~ 12:15)**  
理工系文献ガイダンスモデルの研究

(研究発表要旨)

理工系大学図書館で実施するガイダンスにおいて、近年利用が増加しているデータベースや電子ジャーナルを中心に、各大学図書館で応用できる文献ガイダンスの統一モデルを探る。

発表者： 新谷 睦 (芝浦工業大学大宮図書館) 内山 光子 (日本大学理工学部図書館)  
村山 英治 (東洋大学附属図書館工学部分館)

**(22D) 【メタデータ研究分科会】 (13:15 ~ 14:05)**  
メタデータ作成実験

(研究発表要旨)

標準的メタデータ規則であるダブリンコア (Dublin Core)、およびその図書館応用形 (DC-Lib) によりインターネット情報資源の目録的記述を試みる。その結果から、図書館目録法とどのような差があるのかを検証する。

発表者： 鈴木 学 (日本女子大学図書館)

**(22E) 【図書館運営戦略研究分科会】 (14:10 ~ 15:00)**  
図書館業務の外部委託に関する考察

(研究発表要旨)

アウトソーシングという言葉が一般用語となり、大学図書館業務の外部委託も多く聞かれるようになった。その背景を追うと共に、現在の図書館の状況をあわせて考察することでこれからの大学図書館業務外部委託のあり方を検討。外部委託業務を進めるための検討にあたっては中規模大学図書館を想定した1つの事例を提示する予定。

発表者： 山口 喜一郎 (創価大学図書館) 吉川 啓子 (昭和女子大学図書館)  
佐々木 俊介 (桜美林大学図書館)

**(22F) 【相互協力研究分科会】 (15:15 ~ 16:05)**  
相互協力研究分科会活動報告

(研究発表要旨)

相互協力研究分科会では、ネットワーク環境が著しく変化する中で、現在有効な相互協力全般の手順や情報確認ツール等を調査し、前期作成のホームページに追加修正等を行った。また、海外図書館との相互協力業務に役立つように、分科会参加メンバー館でのILL事例、および、その中でのトラブル事例やその対応方法等を収集し、研究を行った。

発表者： 伊藤 彩（東京医科大学図書館） 三上 彰（桜美林大学図書館）  
川中 はるか（学習院大学図書館） 水野 水母（東京農業大学図書館）

（22G）【L-ラーニング学習支援システム研究分科会】（16:10～17:00）  
L-ラーニング学習支援システム研究分科会の成果と展望

（研究発表要旨）

本研究会は図書館に関連する問題を作成・推敲、またインターネット上で解答することによる自己学習を目的としている。昨年までの図書館員としてさらなるスキルアップするという問題作成に加え、スキルの体系化を行い、効果的な学習支援システムの構築を行った。来期からはこのシステムを元にL-ラーニングの普及を目指す。

発表者： 佐藤 稔彦（駒澤大学図書館） 阿部 潤也（東京歯科大学図書館）

以上

## 立正大学アクセスマップ

[http://www.ris.ac.jp/guidance/cam\\_guide/access.html](http://www.ris.ac.jp/guidance/cam_guide/access.html)

東京都品川区大崎 4-2-16

大崎駅、五反田駅から徒歩7分 大崎広小路駅から徒歩3分  
大崎駅（JR 山手線、湘南新宿ライン、埼京線、りんかい線）  
五反田駅（JR 山手線、都営地下鉄浅草線）  
大崎広小路駅（東急池上線）

新宿・渋谷・東京駅からのアクセスも抜群。  
湘南新宿ライン、りんかい線も開通。ますます便利に！

